

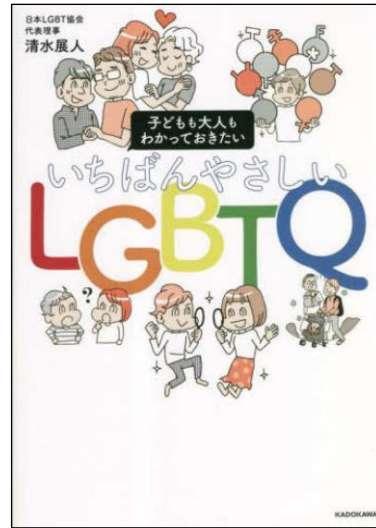
★ 中学・高校共通おすすめ本 ★

子どもも大人もわかっておきたい いちばんやさしいLGBTQ

清水 展人 著/KADOKAWA 367.9

LGBTQとは性的マイノリティ（性的少数者）を表す総称の一つです。自身も性同一性障害の著者が、多様性を尊重する社会の実現に向けて、すべての人にわかりやすく解説しています。

心のバイアス（偏見）を取り除くために、すべての子どもと、そして性の多様性について学ぶ機会がなかった大人の人にも読んでもらいたい本です。



夏休みは図書館へ！ いろんな本に出合えるチャンス！

ヤングアダルト向けのおすすめ本を紹介する「この本読んでみない？セクション」が図書館ホームページで読めます。右QRコードでアクセス！



* 図書館の開館時間

| 図書館 | 月 | 火 | 水・木・金 | 土・日 |
|---|----------------|------------|--------------------------------------|---------------------------|
| 中央図書館 042-564-2454 | 午前10時 ～午後5時 | 休館 | 午前10時 ～午後7時 (2階の利用は 午後5時まで) | 午前10時 ～午後5時 |
| 桜が丘図書館 042-567-2231 清原図書館 042-564-2944 | 休館 | 午前10時～午後7時 | | 午前10時 ～午後5時 (祝日も同じ) |

* 図書館の定期休館日

【中央図書館】 火・第3木・祝日（土日と重なる場合は開館します）

【桜が丘図書館・清原図書館】 月（祝日の場合は開館）・第3木・祝日の翌日（土日と重なる場合はその翌日に休館します）

中央図書館は、夏休み期間中に自習室を設置します。
休館日や自習室のお知らせ、本の検索などは、図書館ホームページをごらんください。



この本読んでみない？

2023 Summer ☆ 高校生



★ 中学・高校共通おすすめ本 ★

ルーパートのいた夏

ヒラリー・マッカイ 作/富永 星 訳/徳間書店 937



第一次世界大戦前のイギリス。

生後すぐに母を亡くし、冷たい家族と暮らす娘クラリー。

祖父母宅でいとこのルーパートと過ごす夏だけが楽しみだった。

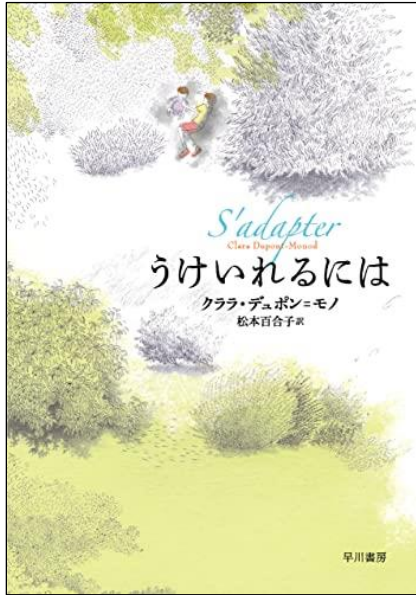
成長するにつれ、学問の楽しさに目覚めるクラリー。

一方、戦争が始まりルーパートは自ら戦地におもむく。

戦争はいつ終わるのか。ルーパートは無事帰ってこれるのか。

うけいれるには

クララ・デュボン＝モノ 著／松本 百合子 訳／早川書房 953円



フランスのある一家のもとに〈社会に適応できない子〉が生まれました。

その子は目が見えず、歩くことも話すこともできません。

長男はその子を〈世界の中心〉に据え、愛情を注ぎ、その子の世話にすべてをかけますが、長女は反対に、その子の存在を憎んで〈自分の世界から抹消〉します。しかし、家族がバラバラになった危機に立ち上がったのは長女でした。そして、その子が亡くなった後に生まれた未っ子は家族の再生を担います。

きょうだい3人の視点からの物語が〈庭の赤みがかつた石〉を語り手に紡がれます。

★ 中学・高校共通おすすめ本 ★

インフォグラフィックス 世界人口図鑑

原島 広至 著／すばる舎 334.2円



長年、環境破壊や食糧危機につながる人口増加が世界的な問題になっていたが、先進国では現在、少子化が進んでいる。

どんな要因で各国・各地域の人口が変化してきたのか、歴史的推移がわかりやすい、全図解フルカラーの人口グラフの本。

戦争、病気、移民など、「こんな

な環境で、こんな理由で、こんなに人口が変わってきたんだ！と、びっくりすること請け合い。

図書室のはこぶね

名取 佐和子 著／実業之日本社 913.6円

県の^あ野亜高校の図書室で見つかった10年前の未返却本に挟まれていたメモは、学校が一丸となって取り組む体育祭のダンスイベント『土ダン』を“ぶつつぶせ！”と書かれた、意味深で謎のメッセージだった。

怪我で高校最後の体育祭に出られず図書当番を引き受けた百瀬^{ももせかのん}花音と図書委員の^{たわら}依^{さくたろう}朔太郎がその謎に触れ、過去と現在がリンクして『^{はこぶね}方舟』が動き出す。

たった1週間の謎解きと青春を描く、切なくも爽やかな物語。



JK、インドで常識ぶっ壊される

熊谷 はるか 著／河出書房新社 302.25円



あとちょっとで^{あこが}憧れのJKになれるという中学3年生のとき、親の海外転勤先は…、想像もしていなかったインドだった！

なにも知らないまま降り立ったのは、タバコオカもプリクラもない国。

「カレー」だけじゃない豊かな食文化。ボランティアで出会った、目を輝かせて未来を語るスラムの子どもたち。家にはお手伝いさんがいて、学校に通うのも運転手付き！

現役女子高生が高校3年生まで過ごしたインドでの驚きの日々を綴り、第16回出版甲子園グランプリを受賞した話題作。